

マスターズ甲子園2020以降シリーズ(全国トーナメント決勝案)

<申請枠>

申請枠に申請を希望する都道府県リーグは、所定の「予選大会登録書(申請枠用)」の入力フォームに必要事項を入力し、2019年の10月初旬から2週間の期間で大会事務局に送信する。その後、「予選大会登録書」に記載されたOBチーム数と共に、各予選大会の都道府県高校野球連盟加盟高校数に対するOBチーム数の割合を勘案した票数により(表1参照)、2019年定例総会(11月)において申請枠を希望した加盟都道府県の出席者による抽選会を行い、2020年～2021年本大会への予選大会リーグを確定する。ただし、これまでマスターズ甲子園本大会に出場していない新規の都道府県からの申請があった場合には、優先的にマスターズ甲子園2020予選大会リーグとして確定することとする。

表1:申請枠・追加枠の抽選会における票数基準

チーム数	票数	チーム数/高野連加盟校数	票数
8～15チーム	1票	60%以上	1票
16～23チーム	2票		
24～31チーム	3票		
32～39チーム	4票		
40チーム以上	5票		

2020大会(第17回大会) 11月中2日間開催(10試合) (大会日程は2020年3月上旬に決定)	2021大会(第18回大会) 11月中2日間開催(10試合) (大会日程は2021年3月上旬に決定)	2022大会(第19回大会) 11月中2日間開催(10試合) (大会日程は2022年3月上旬に決定)
<申請枠:27リーグ> ※2018年時点		<追加枠:31リーグ> ※2018年時点
北海道、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、		
東京都、神奈川県、富山県、長野県、岐阜県、愛知県、		
三重県、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、		
島根県、広島県、徳島県、愛媛県、福岡県、熊本県、		
宮崎県、鹿児島県、沖縄県		
		東日本代表
		西日本代表

<追加枠>

追加枠に申請を希望する都道府県リーグは、所定の「予選大会登録書(追加枠用)」の入力フォームに必要事項を入力し、2021年の10月初旬から2週間の期間で大会事務局に送信する。両登録書を受理後、「予選大会登録書」に記載されたOBチーム数と共に、各予選大会の都道府県高校野球連盟加盟高校数に対するOBチーム数の割合を勘案した票数により(表1参照)、2020年定例総会(11月)において追加枠を希望する加盟都道府県の出席者による抽選会を行い、追加枠上限まで予選大会リーグとして確定する。ただし、この第二次募集(追加枠)に対し、これまでマスターズ甲子園本大会に出場していない新規の都道府県からの応募があった場合は、予選大会リーグとして優先的に確定されることとする。